

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

| | | | | | | | | |
|-------|---|-----|-------------|--|-------|-----------|------|-------------|
| 科目No. | 307 | 科目名 | 社会技術革新学特論11 | | サブネーム | 現代企業経営論 1 | | |
| 連携機関名 | ディレクトフォース | レベル | 中級 | | 講義枠 | 月曜日 | 講義時間 | 18:30~20:00 |
| 科目概要 | 金融不安を解消し、種々の規制緩和が進展する中で、企業サイドの懸命な努力によって日本経済(日本のモノづくり)は着実に成長路線を進み始めている。社会(ニーズ)の動向を先取りして、自社の技術(シーズ)開発を如何に 効果的に進めるか、その成否が今後の企業経営を大きく左右することとなる。前期では日本の代表的メーカーの取り組みの実状を具体的なケースを基に解説する。(後期ではR&D、知材、製造等経営活動の次のステップを) | | | | | | | |

| サブタイトル | No. | 講義名 | 講義概要 | 講義日 | 教室 | 講師名 | 所属 | |
|-------------------|-----|----------------------------|--|-------|-----------------------|-----------------------|--------------|-------------|
| 経営戦略における技術 | 1 | ①「技術経営」の重要性 | 多くの会社は「プロジェクト」で動いている。プロジェクト及びそのリスクのマネジメントが会社の成長を左右するといっても過言ではない。そのポイントは何か？ 本講座はハード中心の構成であるが、ここではソフト開発の例をひきながら説明する。またソフト開発、さらにはIT社会全般におけるリスクマネジメントについても解説。 | 4月16日 | 共通講義棟 1号館 102教室 | 篠原寿一 | 日本IBM 元SE研究所 | |
| | 2 | | | 4月23日 | | | | |
| | 3 | | | 5月7日 | | | | |
| マーケティングと技術開発 | 4 | 技術立国日本・・・強さの秘訣 | ブリヂストンが現在の世界三強の地位を占めるにいたるまでには、多くの経営課題を解決してきている。市場環境の変化をビジネスチャンスと認識し、技術開発勢力を集中的に投入する。F-1レースのタイヤ に進出というリスクを成果に結びつける、等々である。世界三極体制での技術開発の運営の苦労話も交 えて、技術開発の重要性を説明する。 | 5月14日 | | 共通講義棟 1号館 102教室 | 原田忠和 | ブリヂストン 元副社長 |
| | 5 | | | 5月21日 | | | | |
| | 6 | | | 5月28日 | | | | |
| | 7 | 商品開発で成功するには ケーススタディー① | 毎期最高益を更新し続ける花王の強さ-DNAとも呼ぶべきもの—はどこからくるのか。徹底した市場調査と自社の技術シーズをたくみに結びつけてゆく「商品開発五原則」にその原点がある。巨人P&Gの攻勢を如何に受けて立つか、ブランド価値を守ることが何故重要かなど、ヒット商品(クイックルワイパー、アジエンス)の具体例により花王の取組みを解説する。 | 6月4日 | | | 山田重生 | 花王 元取締役 |
| | 8 | | | 6月11日 | | | | |
| | 9 | | | 6月18日 | | | | |
| プロジェクト及びリスクマネジメント | 10 | 商品開発で成功するには ケーススタディー② | 初代「セフィーロ」は日産自動車 が期待した程の成果を挙げられなかった。トヨタ「マークII」への対抗車として、二代目をどうしてもヒットさせねばならぬという課題にプロジェクトマネージャーとして背水の陣で臨んだ講師が開発初期から価格設定、テレビCMまで、各ステップにおける試行錯誤の経緯を具体的に説明する。 | 6月25日 | | 藤井 篤 | 日産自動車 元取締役 | |
| | 11 | | | 7月2日 | | | | |
| | 12 | | | 7月9日 | | | | |
| プロジェクト及びリスクマネジメント | 13 | 技術・商品開発 成功へのツールと リスクマネジメント | マネジメントと技術は現在の企業(特に製造業)の経営において根幹となる両輪である。技術系でかつ企業トップとして事業再構築を推進した経験を下に「技術経営(MOT)」の重要性を説明する。1990年代にはポリエステル不況の波をもろに受けた三菱レイヨンが繊維業界トップクラスの高収益企業に生まれ変わったケースの紹介のほかに、グループ経営、リーダーシップについても触れる。 | 7月23日 | 三村公二 | 三菱レイヨン 元専務 | | |
| | 14 | | | 7月30日 | | | | |
| | 15 | | | 8月6日 | | | | |

2007/3/23 教室の決定。2007/4/6 講義日4/16~5/7、7/23~8/6の講師変更。講義日8/6の教室変更。